官民による若手研究者発掘支援事業
(社会実装目的型の医療機器創出支援プロジェクト)
令和6年度終了課題 事後評価結果

1. 研究開発課題名：ウェアラブル端末を用いた生体情報のモニタリングにより陣痛発来タイミングを予測するAIプログラム医療機器の研究開発
2. 研究開発代表者氏名（所属）：谷口 公介（国立成育医療研究センター）

【評価（公開）】

ウェアラブル端末を用いて陣痛発来タイミングを予測するAISaMDの研究を行い開発コンセプト、仕様をまとめた。開発サポート機関の支援を受けて、研究開発の社会実装に向けた課題の明確化やビジネス人材としての成長への気づきを得たことを評価する。

以上